

3-4 夜間の照明に関する実践事例



取組の概要

川越市並木自治会では、夜間、駅から帰宅する際、住宅地の路地が暗く、住民が犯罪への不安を抱えていた。

そこで、自治会で話し合い、各戸が深夜まで門灯を点灯し、路地を明るくする取り組みを開始した。

夜間の門灯一斉点灯運動

16 埼玉県 川越市 並木自治会

キーワード

- ◆ 一軒一灯がまちを明るく
- ◆ 地域のなわばり意識を高める取り組み
- ◆ ひとつの取り組みが地域の結びつきを強くする

取組の方針と内容

◇ 一軒一灯がまちを明るく

暗い夜道を一人で歩くことは、誰もが不安を感じるものである。このような状況を改善しようと地域で取り組んでいるのが川越市並木自治会の方々である。自治会で話し合いを行い、各家庭の門灯を深夜まで点灯し、路地を明るくする取り組みを開始した。

コメント

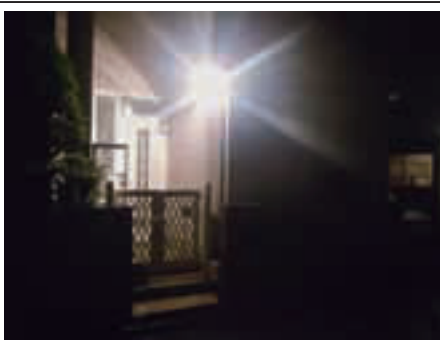
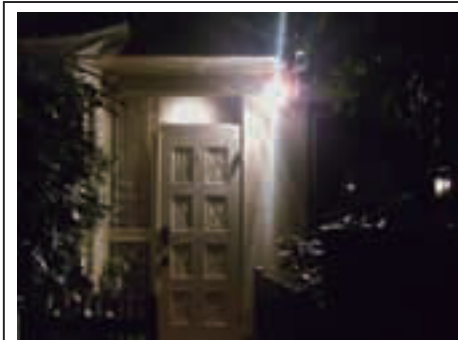
防犯灯を増加することには限界がある。防犯灯と門灯を連携することは、住民を巻き込む効果を持つ。クリスマスの電飾を、地域において一体で行うなども同様の効果を生む。

◇ 地域のなわばり意識を高める取り組み

この取り組みは、まちを明るくすることで、夜間の監視性を確保するだけでなく、地域住民が「みんなを守り合っている」「防犯に取り組んでいる」というメッセージの発信となり、犯罪企図者に「ここでの犯行は無理だ」と思わせる。そのため、地域のなわばり意識を高めること（領域性の強化）にも効果がある取り組みといえる。

◇ ひとつの取り組みが地域の結びつきを強くする

近くにある公園の清掃活動も、この地域の住民が行っており、夜間の門灯一斉点灯運動というひとつの取り組みが地域の結びつきをより一層強めた。



取組の概要

飯能市の岩沢六道自治会は、防犯意識が高く、自治会のほぼ全世帯にあたる約420世帯にセンサーライトを設置した。

これにより、夜間帰宅する人に安心感を与え、地域の防犯力が向上している。

自治会全世帯にセンサーライトを設置 ～『一戸一灯運動』～

17 埼玉県 飯能市 岩沢六道自治会

キーワード

- ◆ 約420世帯にセンサーライト
- ◆ 地域ぐるみで設置することで効果倍増！
- ◆ スローガンは「近所同士で援助・協力」

取組の方針と内容

◇ 約420世帯にセンサーライト

飯能市の岩沢六道地区は、西武池袋線沿いに位置する都内への通勤者が多い住宅地である。自治会の防犯意識が高く、他県の取り組みなども参考にしながら、自治会全世帯へのセンサーライトの設置を企画した(写真①)。その後、自治会でセンサーライトや延長コード等を購入し、全世帯に配布した。今年の7月末には、ほぼ全世帯で設置が完了し、自治会をあげて点灯式を催した。

◇ 地域ぐるみで設置することで効果倍増！

センサーライトは、のぞき、忍び込み、車上荒らし、痴漢対策等に有効である。これを地域ぐるみで設置することにより、夜間帰宅する人に安心感を与え、地域の防犯力を高めるといふ相乗効果が得られる。

◇ スローガンは「近所同士で援助・協力」

この自治会の関係者は、「センサーライトの設置も重要だが、この取り組みでご近所同士が話し合いを進め、自治会内の風通しを良くすることが、防犯活動の基本である。」と強調している。



①センサーライトの設置状況

コメント

センサーライト自体も一定の防犯効果を持つが、地域全体となれば大きな抑止力を持つ。それ以上に設置過程での話し合いが、重要な成果となる。ただし、普通の人にもセンサーは反応するので注意が必要。



取組の概要

川越市内の犯罪の中で、最も多く発生しているのは自転車の盗難である。

そこで、川越市は、盗難が多発している自転車置場に、犯罪の減少に効果があるといわれている青色防犯灯を県内で初めて設置した。

自転車置場に青色防犯灯を設置

18 埼玉県 川越市

キーワード

- ◆ 県内で初めての青色防犯灯
- ◆ 設置効果を分析し、市内に普及を検討
- ◆ 普及啓発と併せ、より効果的な取り組みに

取組の方針と内容

◇ 県内で初めての青色防犯灯

川越市内の犯罪の中では、自転車盗が最も多く発生しており、特に川越駅西口仮設自転車置場周辺の盗難が多発している状況である。

そのため、市では、科学的検証はされていないが、奈良県や広島県で青色防犯灯を設置した箇所において犯罪発生件数が減少したという報告を参考にして、平成18年11月に県内で初めて、試行的に15基の青色防犯灯を設置した。

◇ 設置効果を分析し、市内に普及を検討

今後、この青色防犯灯の設置効果について調査・分析を行い、その結果を踏まえながら他の自転車置場等への設置について検討していくとのことである。

◇ 普及啓発と併せ、より効果的な取り組みに

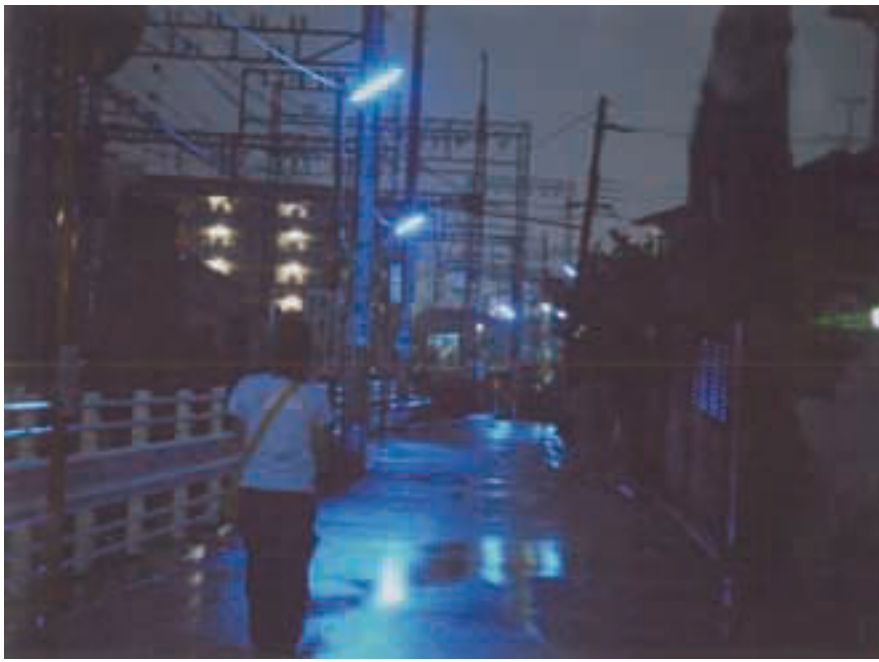
なお、自転車盗対策としては、この取り組みと併せ、自転車盗難防止啓発用の看板や横断幕の設置や、周辺の自治会等と連携してキャンペーンも実施している（写真①）。



① 自転車置場に設置した青色防犯灯と”盗難防止”横断幕

コメント

青色の効果は「特別なものが設置されている」と意識させることに大半ある。白色を全て青色にする必要はないかと思われる。特に重要な地区への設置が有効か。



取組の概要

奈良県内では、平成 16 年 11 月に発生した奈良市の女児誘拐殺害事件をきっかけに、犯罪の抑止に効果があるといわれている青色防犯灯の設置が始まった。

香芝市逢坂自治会では、地区内の街灯 502 本をすべて青色防犯灯に取り換えた。

自治会内の防犯灯をすべて青い光に

19 奈良県 かしば 香芝市 あいさか 逢坂自治会

キーワード

- ◆ 奈良県発祥の青色防犯灯
- ◆ 100%導入は逢坂自治会が初
- ◆ 犯罪の抑止に効果が見られた青色防犯灯

取組の方針と内容

◇ 奈良県発祥の青色防犯灯

奈良市で発生した女児誘拐殺害事件（平成 16 年 11 月）を契機に、同市で青色防犯灯が全国で初めて設置された。県警の担当者が「景観のため街灯を青くした英国の街で、ひったくり、けんかが減った」という事例を知ったことがきっかけだった。

◇ 100%導入は逢坂自治会が初

その後、奈良県内での設置は既に 1,400 基を超えているが、自治会単位で 100%導入されたのは同自

治会が初。「青色防犯灯設置モデル地区」となった(写真①)。

◇ 犯罪の抑止に効果が見られた青色防犯灯

同自治会において、すべての街灯を青色防犯灯に取り換えて以降、犯罪は発生していないという。

また、青色防犯灯を導入した奈良県内の 10 地区では、設置後 6 か月間の夜間の犯罪発生件数が、設置前 6 ヶ月間の 3 分の 2 にあたる 12 件まで減少した。



① 青色防犯灯モデル地区に

コメント

地域を挙げての試みが、防犯効果を生んだのであろう。初期は、機器による効果が明確であるが、維持するための方策が別途必要となる。全ての防犯対策に共通するが、総合的な対策が重要。



取組の概要

大津市では、夜間の路上犯罪防止対策のため、指一本からはじめられる「玄関灯ピカッと運動」を展開している。

まちの一軒一軒が灯りを灯し、地域として取り組むことで、より強い防犯効果を生み出している。

玄関灯ピカッと運動

20 滋賀県 大津市

キーワード

- ◆ 指一本から始めよう! 安心のまちづくり
- ◆ 電気代はひと月 140 円

取組の方針と内容

◇ 指一本から始めよう! 安心のまちづくり

大津市では、路上犯罪が夕方から夜にかけて集中していることから、門灯や玄関灯の終夜点灯を市民に呼びかける取り組み（「玄関灯ピカッと運動」）を展開している（図①）。

「指一本からはじめよう! 安心のまちづくり」をキャッチフレーズにして、門灯や玄関灯の終夜点灯が、市民全体の取り組みとなるよう運動を推進している。

◇ 電気代はひと月 140 円

さらに、電気代はひと月 140 円程度しかかからないことを強調し、市民に協力を呼びかけている。



① 「玄関灯ピカッと運動」啓発パンフレット

コメント

地域が一斉に門灯を付けることは、地域の防犯力の誇示になる。深夜まで起きている部屋の灯りや 24 時間営業のコンビニなどと連携して地域を線・面で安全に配慮する必要がある。ただし、灯りのない家は標的になり、留守の場合の処置や空き家、空地の対策が重要となる。